

関西防災・減災プラン原子力災害対策編 構成新旧比較

(注) 下線部は変更案で追加した項目

<p>概括的・骨格的策定(H24.3)</p>	<p>変更(全面改定)案(H25.6.29)</p>
<p>I 基本的な考え方</p> <p>1 広域連合の役割</p> <p>2 原子力災害対策の留意点 → 付属資料へ</p> <p>II 被害想定</p> <p>1 防災・減災プランで対象とする原子力災害</p> <p>2 事故災害の影響が想定される地域</p>	<p>I 総則</p> <p>1 計画の目的</p> <p><u>2 本計画における用語の定義</u></p> <p>・本計画における各行動主体についての用語の定義</p> <p><u>3 原子力災害対策における事業者、国、地方公共団体の責務</u></p> <p>・災害対策基本法及び原子力災害対策特別措置法(原災法)に基づく事業者、国、府県、市町村の責務、関西全体の防災の責任主体としての広域連合の責務</p> <p>4 計画の性格</p> <p>5 原子力災害対策重点区域</p> <p>6 原子力災害の想定</p> <p><u>7 計画の改定</u></p> <p>・今後の原子力災害対策指針の改定等に合わせた継続的な計画改定</p>
<p>III 災害への備え</p> <p>1 事業者との覚書</p> <p>2 通報連絡体制の整備</p> <p>3 広域でのモニタリング状況の把握</p> <p>4 平常時の情報発信と意識啓発</p> <p>5 資機材の整備と協力体制の構築</p> <p>6 広域避難に関する協力要請</p>	<p>II 災害への備え</p> <p>1 情報の収集・連絡体制等の整備</p> <p>2 災害応急体制の整備</p> <p>3 モニタリング情報の共有・発信体制の整備</p> <p><u>4 緊急被ばく医療体制の整備</u></p> <p>・広域的な被ばく医療体制の整備、UPZ 外における安定ヨウ素剤の配備</p> <p>5 広域避難体制の整備</p> <p>・避難対象区域とその人口の想定、及び今後、関係府県が広域避難計画の検討を行っていく上での基本となる考え方</p> <p><u>6 飲食物の出荷制限、摂取制限</u></p> <p>・国の定める基準に基づき統一的に実施する、構成府県による飲食物の出荷制限、摂取制限</p> <p><u>7 水道水の摂取制限</u></p> <p>・滋賀県が平成25年度末を目途に取りまとめる琵琶湖への影響予測の調査結果を踏まえた、広域連合での広域的な応急給水体制整備等の検討</p> <p><u>8 住民等への的確な情報伝達体制の整備</u></p> <p>・住民等に提供すべき情報の整理、複合災害を想定した情報伝達体制の整備、広報体制の整備等</p> <p>9 住民等に対する知識の普及啓発</p> <p>・UPZ 圏内・圏外の住民がそれぞれ知っておく必要のある原子力防災の知識の普及啓発</p> <p><u>10 防災訓練への参加等</u></p> <p>・広域的に対応すべき対策を想定した訓練の企画立案への企画、訓練への参加</p>

<p>概括的・骨格的策定 (H24.3)</p>	<p>変更(全面改定)案 (H25.6.29)</p>
<p>IV 災害への対応</p> <p>1 災害対応のシナリオ</p> <p>2 初動体制の確立</p> <p>3 緊急時のモニタリング</p> <p>4 放射性物質拡散予測システムの活用</p> <p>5 広域避難の調整</p> <p>6 緊急被ばく医療</p> <p>7 除染活動</p> <p>8 流通食品対策</p> <p>9 家畜の移動</p> <p>10 風評被害対策</p> <p>11 水質汚染対策</p>	<p>III 災害への対応</p> <p>＜広域連合における災害対応の流れ＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・①原子力施設の状況に応じた緊急事態区分(EAL:緊急時活動レベル)と②空間放射線量率に応じた防護措置基準(OIL:運用上の介入レベル)に基づき実施される防護措置についての、国、原子力事業者、関係府県、広域連合等の役割と活動の流れ <p>【初動段階・応急対応段階】</p> <p>1 活動体制の確立</p> <ul style="list-style-type: none"> ・原災法に定める災害の進展段階に応じた活動体制 <ul style="list-style-type: none"> - オフサイトセンターへの職員派遣等による情報収集 - モニタリング結果を構成団体及び連携県と共有するとともに、わかりやすい形での住民へ情報発信 <p>2 屋内退避、避難収容等の防護活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・①所在県及び関係周辺府県、②広域連合、構成団体及び連携県が、EAL 及び OIL に基づきそれぞれ実施する防護活動 <p>3 広域避難の調整</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広域避難調整における避難元府県や広域連合、受入府県の役割、スクリーニング等の実施、災害時要援護者への配慮等 <p>4 飲食物の出荷制限、摂取制限</p> <p>5 水質汚染対策</p> <p>6 緊急被ばく医療</p> <p>7 住民等への的確な情報伝達</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住民等の安全を確保するため、原子力災害の特殊性に配慮した正確でわかりやすい情報提供等 <p>【復旧・復興段階】</p> <p>8 モニタリング情報の共有・発信(継続)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・原子力緊急事態解除後における、構成団体及び連携県が実施するモニタリング情報の共有、住民等への情報発信の継続実施 <p>9 被災者の生活支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・所在県及び関係周辺府県が実施する原子力災害事後対策への支援、避難が長期に及ぶ場合の避難者の生活支援 <p>10 風評被害等の影響の軽減</p> <p>11 放射性物質による環境汚染への対応</p> <p>12 原子力損害賠償</p> <ul style="list-style-type: none"> ・原子力損害賠償の確実な実施に向けた、国及び原子力事業者への働きかけ